

令和 7年度予算見積調書

課室名：消防課
 担当名：消防広域担当
 内線：8173 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
N40	埼玉県特別機動援助隊教育訓練等事業費			一般会計	総務費	防災費	消防防災費	埼玉県特別機動援助隊訓練費		
事業期間	平成18年度～令和 7年度	根拠法令	消防組織法第29、30、43条			針路	01 災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール	11	
						分野施策	0101 危機管理・防災体制の再構築	SDGsターゲット	11-b	
1 事業概要 大規模な災害発生時に県民の生命を守るため、平成18年7月発足の埼玉県特別機動援助隊(埼玉SMART)及び緊急消防援助隊の効率的な運用を図る。実災害における救助・救護の連携強化のため、絶えず訓練を行う必要がある。 ア 埼玉県特別機動援助隊教育訓練事業 7,346千円 イ 緊急消防援助隊訓練への参加等 114千円 ウ 緊急消防援助隊活動支援費 360千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 埼玉県特別機動援助隊教育訓練事業 7,346千円 技術向上、連携強化を図るため、研修・訓練を実施する。 イ 緊急消防援助隊の訓練に参加する。また、緊急消防援助隊出場時に感謝状を授与する。 114千円 ウ 緊急消防援助隊埼玉県大隊に対する後方支援体制の充実を図るため、携帯食を備蓄する。 360千円 (2) 事業計画 ア 研修・訓練の実施 埼玉SMART基礎研修4回・応用研修1回・情報伝達訓練1回・救助・救護訓練1回 イ 携帯食の購入(7月) (3) 事業効果 県内外の大規模災害等への地域防災力の強化が図られる。 令和4年度 SMART基礎研修2回・DMAT隊ホイスト降下訓練1回・情報伝達訓練1回 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練本県開催1回・DMAT参集訓練1回 令和5年度 SMART基礎研修4回・情報伝達訓練1回 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 平成28年度からSMART合同訓練では看護学生が要救助者役として参加している。また、訓練参加協力団体から訓練用事故車両の提供を受けている。						
2 事業主体及び負担区分(県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.2人=20,900千円										
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比	
決定額	7,820							7,820	0	
前年額	7,820							7,820		

事業内訳書

事業名	埼玉県特別機動援助隊教育訓練等事業費		
単位事業名	埼玉県特別機動援助隊教育訓練事業	予算額	7,346千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	7,346	39	
合計	7,346	39	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	113	△25	研修・訓練連絡調整旅費 6回 研修・訓練出張旅費 5回
需用費	190	△53	救助・救護訓練資機材購入費等
役務費	9	△1	救助・救護訓練連絡費
委託料	6,826	206	救助・救護訓練会場設営費
使用料及び賃借料	208	△88	訓練用資機材運搬車両レンタル料 1日 救助・救護訓練協力者搬送バス借上げ料 2台 埼玉SMART会議、作業部会会場使用料 1回
合計	7,346	39	

単位事業名	緊急消防援助隊訓練への参加等	予算額	114千円
-------	----------------	-----	-------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	114	△39	
合計	114	△39	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	50	△27	埼玉県連絡会議 4回 関東ブロック合同訓練参加 1回
需用費	24	△4	緊急消防援助隊出動に対する感謝状等消耗品
役務費	40	△8	緊急消防援助隊出動に対する感謝状
合計	114	△39	

単位事業名	緊急消防援助隊活動支援費	予算額	360千円
-------	--------------	-----	-------

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	360	0	
合計	360	0	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	360	0	緊急消防援助隊出動時の携帯食 備蓄更新分700食
合計	360	0	